



CULTURE,
文化がある。



NATURE,
自然がある。

URBAN,
都市の便利さがある。



いまの私にちょうどいい街



HAKODATE

北海道函館市 移住ガイドブック



どんな暮らしも、よりどりみどり。

函館のことを人に紹介するとしたら、どんな伝え方になるだろう。大都会というほどではないけれど、田舎というほど田舎でもない。都市的な便利さもありながら、海も山も近く、自然の豊かさと四季の移ろいが感じられる。飛行機も新幹線もフェリーもあるから、どこからでも来やすいし、どこかへ行くにも便利だ。開港の歴史を感じさせる街並みの旧市街、観光客と地元の人が行き交う賑やかな繁華街、静かで落ち着いた雰囲気の住宅街もあって、エリアごとに趣が異なるのも特徴だろう。食べ物だってそうだ。新鮮な海の幸はもちろんのこと、全国にファンがいるローカルチェーン店や地域で長く愛されている老舗、独自のメニュー やキャラクターが光る個人店も多く、バリエーションがとても豊かだ。そうそう、温泉のことも忘れてはいけない。市内の至るところに温泉があり、特別な存在ではなく、日常の選択肢のなかに並んでいる。音楽やアートのイベントも盛んだし、子連れで楽しめる遊び場だって少なくない。夜景で有名な函館山は近所の人たちのハイキングコースもあるし、国の特別史跡である五稜郭で学生たちがおしゃべりしているのも、いつもの光景だ。都市と自然、観光と生活、特別と日常が混ざり合って同居している。函館はそういう街だ。だからこそ、いろいろな理想を追い求めることができる。あなたは函館で、どんな暮らしを選びますか？

函館市長であり、移住者でもある大泉潤。

それぞれの立場から函館という街は
どのように見えているのでしょうか。
街との出会いから、今後の展望まで話を聞きました。

大泉潤

JUN OIZUMI

人情味ある人たちに魅せられて ずっと忘れられなかつた函館の街

私は札幌市に隣接する江別市の出

原体験にもなりました。

身なのですが、父親が函館の隣にある七飯町の養護学校に教員として赴任していたことがあつたんです。だから、小さい頃から函館には何度も来っていました。とても華やかな印象があつて、子どもながらにすごい街だなと思っていたのを覚えていま

す。一度行つたら忘れられない街で

ござ飯も美味しかつたですし、景色もきれいだったので、とくに鮮明に覚えているのは、そこで出会つた方たちのことです。最初は少し

とつつきにくい方や、ぶっきらぼうに話す方もいるのですが、一歩近づくと人情味があつて人間味が豊かな

方ばかりで、とにかく人が魅力的で、それが函館という街に強く惹かれる

のは、人と接する仕事がしたかったのが大きな理由です。父親の影響もあったのかもしれません。家にはノーマライゼーションの本がたくさんあります。読みているうちに、知識として私のなかに染み込んでいたのでしょうね。特に福祉の領域に興味があつたんです。それで行き着いたのが、基礎自治体の仕事でした。そうなると行きたい先は一つなんですよ。函館で働きたいなど。そうやって仕事を先に決めて、函館に移住してきました。

函館の強みは、大きく3つあると

思います。1つ目は交通アクセスで

す。飛行機、新幹線、フェリーと陸海

空の交通機関があり、どこからでも

訪れやすく、どこへも行きやすい。

2つ目は人の魅力。先ほど話したよ

うな人柄のよさもありますし、高校、

専門学校、大学等と選択肢が多く、人

を育てる力もある街です。3つ目は

都市ブランドですね。これは得たく

ても簡単に得られるものではありません。全国的に知られていて、魅力的

な街に選ばれ続けていることも、大きな強みです。

今後はインクルージョンの考えを大切に、誰もが人格を尊重され、誰も排除されることのない社会を1日でも早く実現したいと思っています。
同時に人口減少という課題への対策をしっかりと実行し、街のにぎわいを作り、市民の幸福度を上げていくことが重要です。単に経済的な豊かさを求めるのではなく、社会環境も含めた本当の豊かさを実現し、若いうな人々にも選ばれる街を目指しています。

函館は観光都市として有名なので、ともすればすでに完成した街とまだ掘り起こされていない資源がたくさんあるんです。ですから、函館はまだまだ変わっています。これからも市民のみなさんを温かく守り、インクルージョンの実現とウェルビーイングの向上に全力を尽くしていきます。「進化する函館」への移住を、ぜひご検討ください。

先輩移住者としての 函館の市長としての



おおいずみじゅん
大泉潤
1966年、北海道江別市生まれ。早稲田大学法学部卒業。函館市観光部長や保健福祉部長を経て、2023年4月に第10代函館市長に就任。



カレーはレギュラーメニューの他に日替わりもある。ディナータイムは個性豊かなスパイス料理とお酒を楽しみつつ、締めにカレーを味わうのがオススメ。

涼介 それまで料理をやっていたわけじやないんですけど、そのお店ではドレッシングやマヨネーズ、ベーコンも自分たちで作つていて、自分でやれば何でもイチから作れるつてことに感動したんです。そんな環境で6年ほど働いていて、そこで学んだことを函館で

アウトプットしたいという気持ちで『ハツチャギ』をオープンしました。こっちでは、お肉も野菜も魚も、食材は基本的に北海道や道南のものにこだわっています。定番メニューはもちろんあるんですけど、野菜を毎週ランダムに届けてもらったり、鮮魚店に魚を見に

と食べに行つて「ここで働きたい」と思い、就職した。当時、東京ではスパイスクレーが流行つていて、ひとつずつプレートに何種類かの

いたが、たんてすいと本当にやいがいした
付き合うよつて感じで函館に移住してきま
した。

涼介 カレーは函館に住んでいた頃から好きで、家の近くにあったスーパー・カレー屋さんによく通っていました。東京に行つてからは、いろんなお店を食べ歩いていて。そのなかで特に衝撃的だったのが、カリーバーというスタイルのカレーを含めたスペイス料理店「西ガルバ」(西ガルバ)。西ガルバ

奈央 「あのカレーはどうやって作ってるんだろう」って言って、家でも作ったりしてたもんね。実際に働かせてもらうようになつて、「いつかは自分もあんなお店をやりたい」という話はずつとしていました。ただ、私のなかではもつと年をとつてからの話かなと迷つてたんですけど、今となっては迷つてた

函館に移住して お店を始めるという決断

皿入魂というか。いろんなカレーを食べてきて
てが完結しているカレーだったんですねよ。

「と驚くことも多かつたですね。妻とは、その勤務先で出会いました。

奈央 私は千葉県木更津市の出身で、実家が山のほうだったので畑で野菜を育てたり、味噌や梅干しを手作りするような環境で育ちました。だから、都会に対する憧れも強くて、東京の病院に就職したんです。東京はちょっと歩いて楽しかったですね。

涼介 僕は函館出身で、看護学校を卒業する21歳までは地元にいました。就職は東京の病院で、住んでいた寮が新宿だったんですよ。人は多いし、目の前にドンと都庁が建っている



裏は取材当時の店舗。現在は西部地区の末広町に移転している。

たことのないお店も多いから、これから自分で発掘していく楽しみもありますね。あとは街のことでもまだ知らないことが多いので、ゆっくり観光もしたいなと思っています。

涼介 僕も、もっと函館を知りたいですね。五稜郭とか西部地区のエリアも面白そうだなと思っているんですけど、営業があるとあまり遊びに行けないので。お店としては、最初は同業者や生産者の方々に来ていただいていて、

東京に住んでいた頃は、函館の狭さに苦手意識がありました。何かあったらすぐに噂が広がるみたいな。だけど、実際に住んでみたら、そういう狭さにもいい面があることがわかりました。新しい店ができるという情報をすぐにキャッチしてもらったり、いろんな人と繋がることができたのは、想定していなかった嬉しさですね。赤ちゃんを連れて歩いてると優しく声をかけてもらったりもして、温かい人が多い街だなと感じています。



函館の「想定外」

ゲーム会社から独立して フリーのデザイナーに



菅 渉宇さん(41歳)
仕事:フリーランスデザイナー
出身地:東京都小金井市
函館在住歴:2年

今は「デザインの仕事を中心にやっています」が、大学を卒業して最初に勤めたのはゲーム会社でした。そこでゲームプランニングやインターフェースデザインの仕事をしていました。ただし、他の様々な仕事をしてみたので学生のときにバイトしてたデザイン事務所の手伝いをしたり、企業に就職した大学時代の同級生から仕事をもらったりしていました。開発に何年もかかるのが当たり前でした。だからゲーム業界の仕事に対し、「デザインの仕事は数ヶ月ごとにアウトプットが続いている」と思っていました。しかし、いろんな方と仕事ができるのが楽しいです。

そこからはフリーランスでグラフィックデザイナーをしています。最初は仕事がなかつたので学生のときにバイトしてたデザイン事務所の手伝いをしたり、企業に就職した大学時代の同級生から仕事をもらったりしていました。開発に何年もかかるのが当たり前でした。だからゲーム業界の仕事に対し、「デザインの仕事は数ヶ月ごとにアウトプットが続いている」と思っていました。しかし、いろんな方と仕事ができるのが楽しいです。

自然の循環の中に身を置いて 自分の暮らしを自分で作る



みたいな。

函館で出会った生産者の方々は、それが地に足をつけて自分の仕事をしているのに、同じように自然と暮らしが循環していく方向を目指しているように見えました。そういう環境が自分たちが思い描いていた理想と近くで「住むならここかもしれない」と思つたんですよね。その5ヶ月後には夫婦で函館

に引っ越してきました。

海と山と街の近くで あるものを楽しむ暮らし

函館に来て最初の頃は、リモートで東京のデザインの仕事を続けていました。自分の経験上、仕事は営業で得るより、人との関係性の

なかで生まれることが多いんですね。函館でも同じで、考え方や想いで共感する人との出会いから仕事が生まれていきました。今はお店の口「制作や、イベントの広報・運営などにも関わっています。

函館って、一足の草鞋で仕事をしている方も多いじゃないですか。東京の視点からすると、それはすごく新鮮で。東京は専門性が重視されるから、ひとつの仕事で精一杯になります。ただけど、いろんな働き方ができるのも函館のよさですよ。僕もずっと「デザイン1本でやっていきたい」とは思っていないので、林業の勉強もしています。山の木から薪を切り出して、自分でエネルギーを生産できるのはすごく魅力的ですね。物価の上昇に合わせて収入も増やさないといけない生活からは離れて、自分で使うものは自分で作れるような生活にシフトしていくたらなと思っています。

そういうことを楽しめる環境が函館にはありますよね。妻が菓子屋をしていて廻油が出るので、それで石鹼を作っているんですよ。そこに森から採取したトドマツやスギの葉で香りをつけるみたいなことも遊びながらやっています。飲食店さんでも、高くて作りたいものに合わせて食材を仕入れる、人の欲求を最優先にすると、いろんなところに歪みが生まれるし、それがいきすぎているのが都会なんだと思います。それでも経済が回っているから、環境負荷が見えにくいで

しょうけど。
函館は海と山と街が近いので、それがもう及していくような循環モデルができるんじゃないかと思っています。このサイズ感だからこそ、そういう可能性に気付けるし、自分も山と海と街の間に入っちゃうぞいい循環の一端にならっていきたいですね。



デザイン業務の他にも林業やキノコについて学ぶ会に参加するなど、函館で活動の場を広げている。



函館の「想定外」 移り住んでわかった!

日本有数の港町だけに、良質な海産物を扱う鮮魚店が多いと思います。みんな贅沢にしているお店があるのではないか。自分も週に何度も通う近所の鮮魚店があります。そこで特に驚いたのが生のニシン。関東の人間に於ては煮付けするイメージの魚ですが、鮮度がよくれば刺身でも食べられて、とにかく美味しいというのは、いい意味での想定外でした。マイナス面の想定外としては、東京と比べて光熱費が高いことですね。



いつかは戻りたかった函館へ

自分で決めた2度目の移住



趣味 × 仕事

たかはし　すみよ
高橋 寿美代さん(55歳)
仕事:ニットスタジオ運営、ニット作家
出身地:大阪府堺市
函館在住歴:1年



豊かな自然に囲まれて
家族との時間を大切にする暮らし



「教科書通りではなく、オリジナルのものを作ってほしい」というのが高橋さんのモットー。教室でも、技術だけでなく楽しく作ることの大切さを伝えている。

函館に来たのは夫の転勤がきっかけでした。それまでは働きながら余暇で編み物をしていたのですが、仕事を辞めて移住してきたので時間がありました。そのときの社宅

編み物は14歳の頃からやっています。高校時代はバスケット部で、メンバーの背番号を入れたハンドウォーマーを作つたりもしていました。社会人になってからもずっと趣味としてやっていたんですけれど、将来的に何かの役に立てばと思つて編み物を教えられる資格を取つたんです。

函館に来たのは夫の転勤がきっかけでした。それまでは働きながら余暇で編み物をしていたのですが、仕事を辞めて移住してきたので時間がありました。そのときの社宅

大好きだった編み物を 趣味から仕事へ

函館に来たのは、その米農家

海外生活は楽しかったのですが、親が体調を崩したこともあり日本に戻っていました。その頃ですね、農業と出会ったのは。せたな町の米農家さんのところで体験させてもらつた暮らししがども素敵で、いつか自分もという気持ちになりました。

海外生活は楽しかったのですが、親が体調を崩したことがあり日本に戻っていました。その頃ですね、農業と出会ったのは。せたな町の米農家さんのところで体験させてもらつた暮らししがども素敵で、いつか自分もという気持ちになりました。

札幌で生まれ育つて、地元で会社員をしていたんですけど、25歳のときに仕事を辞めました。海外への憧れがあって、日本語教師になるために通信制の大学に入りました。生徒は子どもから大人まで様々で、給料は安かつたけど楽しかったですね。そのあとはインドネシアに行って、日本で介護職に就く人たちに語学を教える仕事をしていました。そこで出会った生徒とは今も繋がっていて、函館に遊びに来てくれたこともあります。

そこで4年間勉強して、最初はベトナムの日本語学校に行きました。生徒は子どもから大人まで様々で、給料は安かつたけど楽しかったですね。その後はインドネシアに行って、日本で介護職に就く人たちに語学を教える仕事をしていました。そこで出会った生徒とは今も繋がっていて、函館に遊びに来てくれたこともあります。

日本語教師として

憧れだつた海外生活へ

札幌で生まれ育つて、地元で会社員をしていたんですけど、25歳のときに仕事を辞めました。海外への憧れがあって、日本語教師になるために通信制の大学に入りました。生徒は子どもから大人まで様々で、給料は安かつたけど楽しかったですね。その後はインドネシアに行って、日本で介護職に就く人たちに語学を教える仕事をしていました。そこで出会った生徒とは今も繋がっていて、函館に遊びに来てくれたこともあります。

そこで4年間勉強して、最初はベトナムの日本語学校に行きました。生徒は子どもから大人まで様々で、給料は安かつたけど楽しかったですね。その後はインドネシアに行って、日本で介護職に就く人たちに語学を教える仕事をしていました。そこで出会った生徒とは今も繋がっていて、函館に遊びに来てくれたこともあります。

日本語教師として

憧れだつた海外生活へ

酪農は37歳から始めたという小笠原さん。道南には酪農のイメージがなく、人手不足となっているが、興味がある人向けに体験酪農をしている農場もある。



児童館と酪農 地方でのダブルワーク

朝と夕方の2回出勤して、昼間は自由という働き方です。ただ、道南全域が担当エリアになるので移動が多く、まとまった休みを取れない

ので、日中は児童館で働き、酪農は特定の農場のみ手伝う働き方に変えました。今は子どもと牛と戯れる毎日です。

5年前に畑のある家に引っ越しました。家族との時間を大切にしたいので、これからは自分の畑で耕耘する日々です。

酪農ヘルパーは牛に餌をあげたり搾乳の手伝いをする仕事で、早朝と夕方の2回出勤して、昼間は自由という働き方です。ただ、道南全域が担当エリアになるので移動が多く、まとまった休みを取れない

ので、日中は児童館で働き、酪農は特定の農場のみ手伝う働き方に変えました。今は子どもと牛と戯れる毎日です。

5年前に畑のある家に引っ越しました。家族との時間を大切にしたいので、これからは自分の畑で耕耘する日々です。

札幌で生まれ育つて、地元で会社員をしていたんですけど、25歳のときに仕事を辞めました。海外への憧れがあって、日本語教師になるために通信制の大学に入りました。生徒は子どもから大人まで様々で、給料は安かつたけど楽しかったですね。その後はインドネシアに行って、日本で介護職に就く人たちに語学を教える仕事をしていました。そこで出会った生徒とは今も繋がっていて、函館に遊びに来てくれたこともあります。

そこで4年間勉強して、最初はベトナムの日本語学校に行きました。生徒は子どもから大人まで様々で、給料は安かつたけど楽しかったですね。その後はインドネシアに行って、日本で介護職に就く人たちに語学を教える仕事をしていました。そこで出会った生徒とは今も繋がっていて、函館に遊びに来てくれたこともあります。

日本語教師として

憧れだつた海外生活へ

函館の「想定外」

移り住んでわかった!

想像を超えていたのは寒さですね。こんなに寒いのに、お風呂は追い焚きではなく、足湯が基本だというのには驚きました。雪道の轍にタイヤが取られるので、冬の運動も苦労しました。玄関にある風除室や二重窓など、北海道ならではの建築設備があることや、定期的に灯油を給油してもらえるシステムがあるのはありがたかったです。

想像を超えていたのは寒さですね。こんなに寒いのに、お風呂は追い焚きではなく、足湯が基本だというのには驚きました。雪道の轍にタイヤが取られるので、冬の運動も苦労しました。玄関にある風除室や二重窓など、北海道ならではの建築設備があることや、定期的に灯油を給油してもらえるシステムがあるのはありがたかったです。

ものづくりの仲間と イベントを作りたい

函館には8年いたんですけど、また夫の転勤で離れるようになりました。そこから帯広、和歌山、川越と各地を転々としていたんですけど、私はずっと「いつかは函館に戻りたい」と思つていたんです。

函館ではエリアごとに色や匂いが違うじゃないですか。特に西部地区は坂の上から下まで景色が変わるので、その日の気分で歩く道を変えたりして。そういう生活が、大変で暮らしてきました。今は西部地区に二つ

館つてエリアごとに色や匂いが違うじゃないですか。特に西部地区は坂の上から下まで景色が変わるので、その日の気分で歩く道を変えたりして。そういう生活が、大変で暮らしてきました。今は西部地区に二つ

函館の「想定外」

移り住んでわかった!

札幌と比べると雪が少ないと思っていたのですが、そんなこともなかったですね。前の年に住んでいたときは、農道が埋まって車が出せなくなったりしていました。そうかと思えば積雪がほとんどない冬もあって、雪のムラが大きいなど感じます。今の家は大きな道路に面していて、しっかり除雪も入っています。



想像を超えていたのは寒さですね。こんなに寒いのに、お風呂は追い焚きではなく、足湯が基本だというのには驚きました。雪道の轍にタイヤが取られるので、冬の運動も苦労しました。玄関にある風除室や二重窓など、北海道ならではの建築設備があることや、定期的に灯油を給油してもらえるシステムがあるのはありがたかったです。

想像を超えていたのは寒さですね。こんなに寒いのに、お風呂は追い焚きではなく、足湯が基本だというのには驚きました。雪道の轍にタイヤが取られるので、冬の運動も苦労しました。玄関にある風除室や二重窓など、北海道ならではの建築設備があることや、定期的に灯油を給油してもらえるシステムがあるのはありがたかったです。

函館の好きなところ

食



伝統と革新の共存

函館はイカ刺しや塩ラーメンなどの名物に加え、最近とれているブリやマイワシを活用した料理が次々と生まれているのが面白いですね。伝統を大切にしながらも、新しいものを受け入れる土壤があるというか。バイトしている飲食店にも世界中から美味しいものを求める人が来ていて、食の街だなと感じます。

PROFILE



名前: 北村梨紗
仕事: 学生
年齢: 20歳
出身地: 北海道鹿追町
函館在住歴: 3年

自然



家からすぐの身近な登山

アメリカに住んでた頃に登山にハマって、函館に来たら家から歩いて行ける距離に函館山があったので散歩感覚で登るようになりました。コースがたくさんあるし、季節や時間によって景色が変わるので飽きないです。最近は鳥や植物に興味があって。そうやって好きなものが増えていくのは、とても幸せです。

PROFILE



名前: 松原かおる
仕事: デザイナー
年齢: 42歳
出身地: ブラジル・サンパウロ州
函館在住歴: 1年

歴史



歴史と暮らしが地続きに

勤めていた書道用品店が函館に出店したのが、移住のきっかけでした。石川啄木やペリーなど、函館には歴史上の人物に関する場所が多く、史実が現実だと感じられる街だと思います。古い建物も残っているので、不動産の仕事を始めてからは「こう活用したら面白そう」という視点で街を見るようになりました。

PROFILE



名前: 八木野創太
仕事: 不動産会社スタッフ
年齢: 29歳
出身地: 新潟県新潟市
函館在住歴: 5年

娯楽



遊び場ならではの距離感

音楽が好きで、よくクラブイベントに行くんですよ。そういうところに行くとすぐに誰かが間に入って人を紹介してくれるのが、函館のいいところですね。自分でお店をやっている人たちも集まつたりしているから繋がりが増えて、娯楽の幅も広がっています。居酒屋では、こういう関係は生まれないですよね。

PROFILE



名前: 後藤公平
仕事: 飲食店オーナー
年齢: 39歳
出身地: 北海道森町
函館在住歴: 半年

カルチャー



異文化の混ざり合い

開港都市という背景もあって、街並みや食べ物など、いろんなところで文化の融合を感じられるのが面白いですね。北前船の足跡を辿ったら、地元・北陸との繋がりも見えてきました。一度外に出た人が地元に新しいカルチャーを持ち帰ったりもして、異文化を柔軟に受け入れるお手本のような街だと思います。

PROFILE



名前: 清水委義
仕事: 宿泊業
年齢: 42歳
出身地: 石川県金沢市
函館在住歴: 2年半

ビジネス



実践的に仕事を学ぶ

仕事ではとにかく打席に立たせてもらう機会が多いので、実践的な学びがたくさんありますね。それと「自分はこんなことを大切にしている」という個々の想いが見えやすい距離感だから、仕事を通して人と繋がりやすいなども感じます。今後は同世代で異業種の人たちと意見交換をする朝活も始める予定です。

PROFILE



名前: 高木桂佑
仕事: まちづくり会社
年齢: 26歳
出身地: 北海道札幌市
函館在住歴: 3年半



函館コミュニティプラザ 『Gスクエア』ってどんな場所?

利用者の声 /

友達に会ったり、イベントをやってたり、行けば何かがある場所だなと思います。
(高校2年生)

最初からいい意味で初めてまでの距離感ではなく、馴染みやすかったです。ここでできた友達もいます。
(高専1年生)

何でも相談できる場所ですね。アートの楽しさを知ってもらったり、人と繋がるイベントを作りたいという相談をしたら、スタッフの方が一緒に形してくれました。
(高校3年生)



年間を通してたくさんのイベントを実施



Gスクール

家でも学校でもないナナメの学び場。函館にゆかりのある方を講師に招き、学生たちに多様な生き方があることを伝えるイベントで、他校の生徒同士が繋がる機会にもなっています。



中高生の寄り道どころ みちどこ

「中高生の寄り道どころ」として開放されている場で、学生がイベントを企画したり、勉強の息抜きにおしゃべりをしたり、自由な時間のなかで生まれる楽しさを大切にしている。



道南ユースマガジン each [イーチ]

学生たちがローカルマガジンを作るプロジェクト。現役のライターやデザイナーが、企画の立て方から取材の心得、誌面デザインのコツなどを伝え、全4回の講座で雑誌を作っている。

学生たちのサードプレイス

老若男女を問わず、たくさん的人が訪れるGスクエアですが、特に多く

いて賑やかな雰囲気に包まれています。

が集まって来て、黙々と試験勉強に励んだり、友達とお菓子を食べたり、スタッフと仲良く話をしているのが日常の光景です。単に場所を利

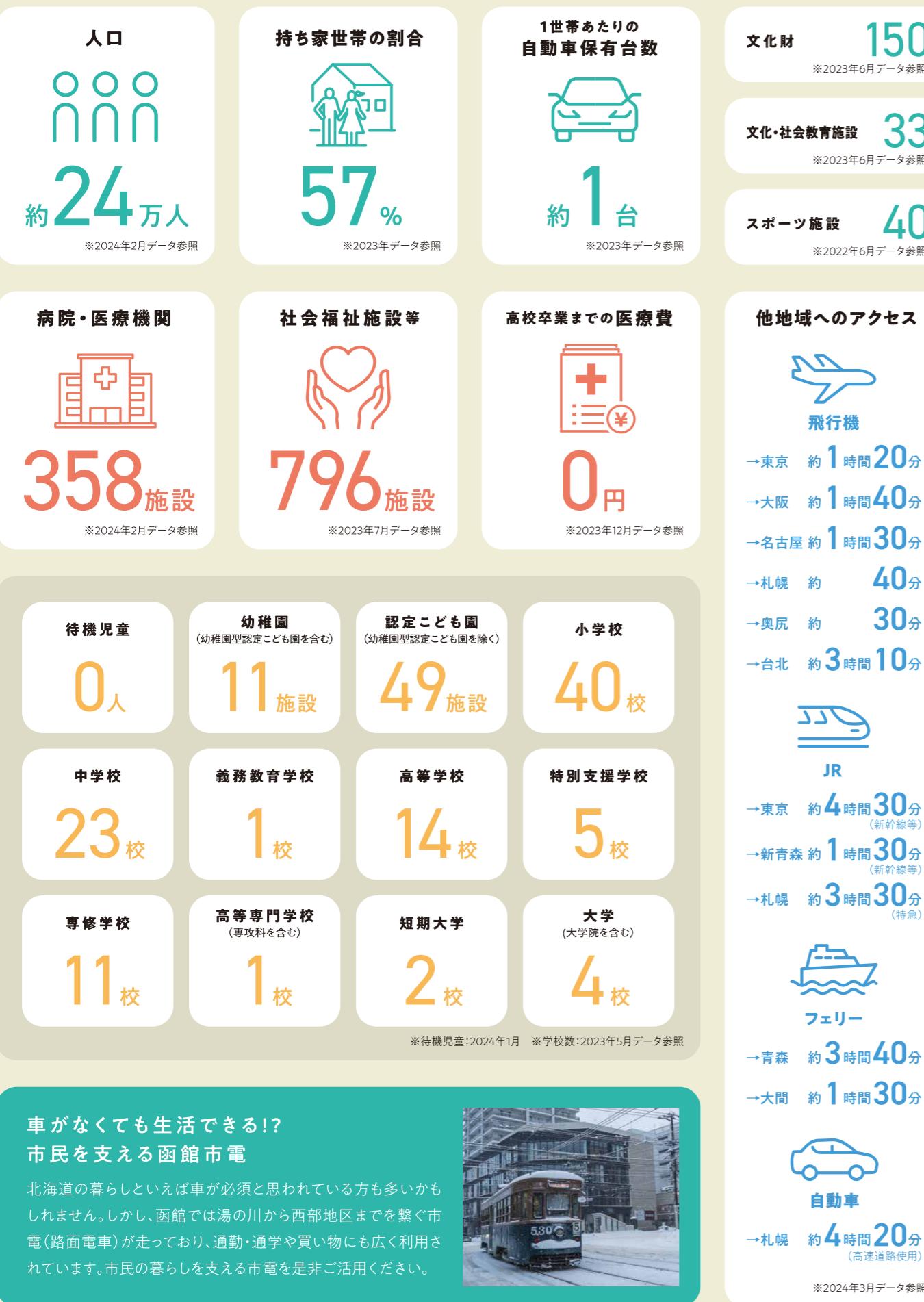
用するだけでなく、ここで出会った学生たちが自らイベントを企画することもあり、若者がチャレンジで生きる場所としても新しい価値を創造しています。コミュニティープラザ

という名前の通り、さまざまな人の交流地點となり中心市街地の活気を生み出している場所です。

函館データ集

HAKODATE DATA

学校の数や他地域への移動時間、平均気温など、
函館市の暮らしに関するデータをまとめました。
移住を検討される際の参考にしていただければと思います。



車がなくても生活できる!? 市民を支える函館市電

北海道の暮らしといえば車が必須と思われている方も多いかもしません。しかし、函館では湯の川から西部地区までを繋ぐ市電(路面電車)が走っており、通勤・通学や買い物にも広く利用されています。市民の暮らしを支える市電を是非ご活用ください。



函館市内 エリアマップ[®]

HAKODATE AREA MAP

エリアごとに異なる表情を持つ函館。

市内の主要箇所は市電で繋がっているほか、郊外へは鉄道や高規格道路が利用できます。

駅や空港、フェリー乗り場も中心地から近く、外からのアクセスがいいのも特徴です。



2004年に函館市と合併したエリア。昆布や鮪の産地として知られているほか、国宝の中空土偶が発掘され、世界遺産に登録された縄文遺跡群もあります。



移住お役立ち情報

函館市
公式LINE



函館移住定住ナビ



子育て環境や施設の紹介、移住者のインタビューなど、函館市への移住定住に役立つ情報が網羅されています。市への相談窓口や、仕事案内のサイトへのリンクもまとめられているので、移住を検討する際には、まずはこちらをご覧ください。移住セミナー開催のご案内をはじめ、最新情報は随時更新していくので、定期的にチェックしていただければと思います。

函館市

オンライン申請可能な手続き一覧ページ

オンラインで申請可能な行政手続きをまとめたページ。住民票の交付や児童手当の申請、水道使用のお申込みなどをすることができます。



函館市内の移住相談窓口 函館市移住サポートセンター

函館市地域交流まちづくりセンター内にある、対面で移住相談ができる窓口。暮らしのお役立ち情報の発信や、地域の方々との交流イベントなど、移住後のサポートも行っています。



住所：函館市末広町4番19号
(函館市地域交流まちづくりセンター内)
開館時間：9:00～21:00
休館日：年末年始12/31～1/3、臨時休業の場合あり
電話：0138-22-9700
E-mail：info@hakomachi.com



首都圏の移住相談窓口 どさんこ交流テラス

首都圏にいながら、函館での仕事の探し方や子育て環境などの相談ができる施設。対面、オンライン、電話の3つの方法で相談可能です。

住所：東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8F
営業時間：10:00～18:00
定休日：月曜日、祝日及び
夏季・冬季休業
TEL：090-1541-0011
E-mail：hokkaido1@furusatokaiki.net



移住支援金について

函館市への移住支援金支給額や対象者の要件、申請までの具体的な流れがまとめられています。
函館市企画部移住・人口減担当
TEL: 0138-21-3688



函館しごとネット

函館市内の企業案内、求人、就職関連イベントなどの情報を発信する仕事探しのポータルサイト。
函館市経済部雇用労政課
TEL: 0138-21-3309



函館市の住まいに関する支援制度

住宅の新築や改修の際に活用できる支援制度の一覧。「市外からの移住者が空家の購入にあわせて改修を行う場合」や「住宅敷地付きの空家を取得した後、空家を除却して新築住宅を建築する場合」など、パターンごとの補助金が確認できます。



ワーケーションin函館

函館で休暇を楽しみながら働くワーケーションの案内。テレワークができる施設の紹介や、地元の企業・大学への視察ガイド、目的別のモデルプラン、サテライトオフィスの開設を検討する市外事業者向け補助金などの情報がまとめられています。



Editor's note

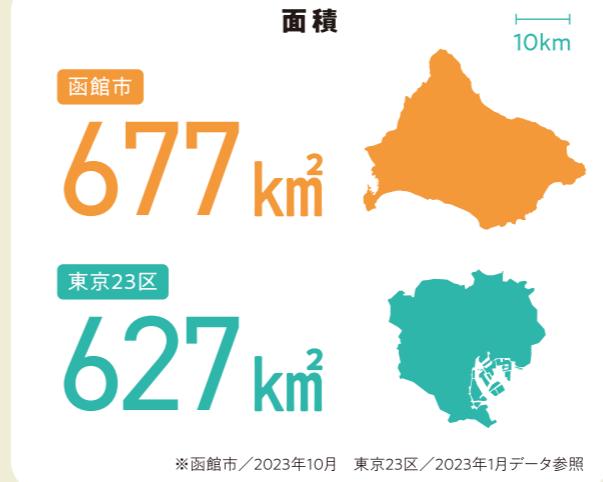
あべこうへい 阿部光平（ライター・編集者／2021年に東京からリターン）

コロナをきっかけに家族5人で函館に戻ってきました。最初は仕事が続けられるか不安もありましたが、函館に来てからは文章の執筆のみならず、ラジオやテレビ、企業のプランディングなど、仕事の幅が広がりました。妻は自分の美容室を開業し、子どもたちは自然に囲まれて元気に育ち、函館で暮らす幸せを日々噛み締めています。

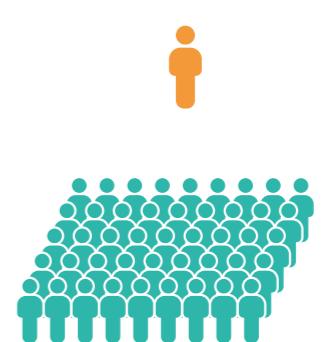


ふじいたく 藤井拓（グラフィックデザイナー／2021年に東京からリターン）

函館出身の妻と結婚したのがきっかけでこの街が気に入り移住してきました。東京と比べたら足りない部分もありますが、小さい子どもがいる今の僕ら家族にとって、街に住みながら海も山も近い今の環境はとても豊かなだと感じています。この冊子が移住を考えるきっかけになってくれたらうれしいです。函館、楽しいですよ～！（笑）



人口密度



**338
人/km²**
**15,485
人/km²**

※2024年2月データ参照

通勤時間平均



函館市

20分
42分

東京23区

※2018年データ参照

家賃相場

函館市
42,299円
東京23区
88,473円

※2018年データ参照

最高・最低気温

函館市

東京都

最高気温

33.3°C
-13.4°C

37.2°C
-3.1°C

最低気温

※2021～2023年データ参照

住宅地の平均価格 (1m²あたり／円)

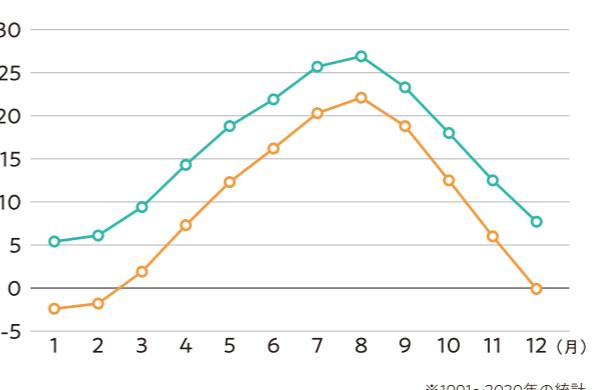


※2023年データ参照

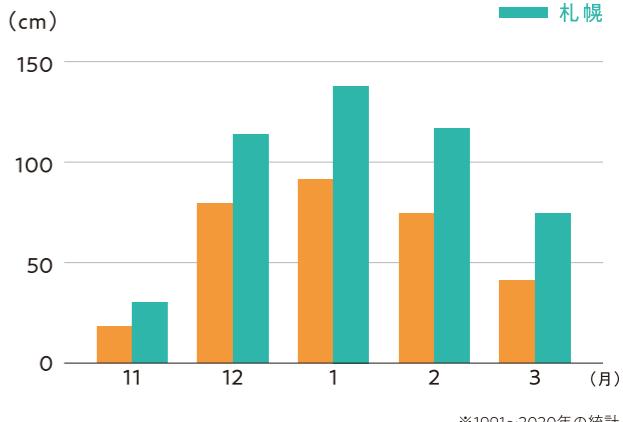
平均気温

東京
函館

(°C)



積雪量 (平年値)



データ集出典
函館市行政ポータルサイト、統計でみる市区町村のすがた2023、一般財団法人自動車検査登録情報協会、統計情報・わが国の自動車保有動向、東京都都政情報、統計情報リサーチ、気象庁、国土交通省地価・不動産鑑定、「平成30年住宅・土地統計調査結果」(総務省統計局)

guidebook of migration to
HAKODATE

函館市企画部移住・人口減担当
北海道函館市東雲町4番13号
TEL. 0138-21-3688